

令和4年度1学期 野村高校終業式

皆さん、おはようございます。今日で第1学期が終了します。1年生にとっては、あっという間の4か月間だったでしょうし、2年生はそろそろ自分たちが学校を動かしていくのだという意識が芽生え始める頃かも知れません。そして、3年生にとって、今は自らの進路を決める大事な時期といえるでしょう。1学期の終了にあたり、私なりに1学期を振り返ってみたいと思います。

私は野村高校の卒業生です。実に38年ぶりの母校の体育館に足を踏み入れ、ステージ上で入学式や始業式の式辞を読んでいるとき、私の脳裏には、なぜか自分の高校時代の映像が次々と浮かんできました。毎日重いカバンを抱えて登校したこと、補習が終わった後に薄暗くなった校庭で友だちとソフトボールをして遊んだこと、運動会で応援団長として声を枯らしたこと。いろいろと思い出していくうちに、ちょっと目頭が熱くなってしまいました。その時、今の自分があるのは、友人や家族はもちろんですが、当時私を支えてくださった先生方のおかげだと強く感じ、今度は、自分が目の前の生徒の皆さんを支えていく番だと強く心に誓った瞬間でした。

1学期の出来事を思い返してみると、「いい場所を選んだなあ」と笑顔になれた桂川への遠足。勝利を目指して戦い、涙した南予大会や県総体、野球の県予選。箏曲部と野村中学校のアカデミックな合同演奏会。「乙亥大相撲盛り上げ隊」の活動など、毎日毎日、皆さんの楽しそうな様子がホームページにアップされ、一人一人の喜びの表情が全世界へと配信されました。そして、吹奏楽部の中庭コンサートと教職員のダンス。みのり先生の最後の決めポーズには野村高校第一学期あやぐも大賞を授与したいと思います。その他にも、農業クラブ奉仕活動、体験カルチャー教室、スポーツマッチ、生徒会活動、家庭クラブ活動など、全ての行事や活動が、皆さんにとって有意義なものになったと確信しています。

これから、長い夏休みになります。目標をしっかりと設定して、中味の詰まった毎日を過ごしてください。母校の先輩として言わせてもらえれば、夏休みの目標を決める際には、「英語を頑張る」というような抽象的な目標ではなく、「毎日、単語を3つ覚える」のように、具体的な目標にすることが成功の秘訣です。

さて、私は、始業式と入学式で、皆さんに大事にしてほしい3つの心を贈りました。「学び合う心」「支え合う心」「高め合う心」という3つの心です。そして、この3つの心を通じて、仲間と日々成長することの大切さを伝えたいつもりです。先日、箏曲部と野村中学校の合同演奏会に野村公民館に行った際、トイレでスリッパを揃えている小学校低学年の男子に出会いました。私が「ありがとう」というと、その男の子は、「お母さんが、次にトイレに来た人が気持ちいいようにスリッパを揃えようねと言うんです」と答えてくれました。ただ「履物をそろえる」という単純な行為のようですが、「後の人が気持ちいいように」という相手を思う心は、まさしく「支え合う心」です。お互いに相手のよい行為を認めて、次からは自分もできるように心掛けることは、「学び合う心」や「高め合う心」に通じるのではないかと、私は考えました。

履物が揃うと心も揃います。履物が乱れていたら、愚痴をこぼさず揃えたいものです。それができれば、人々の心も揃い、この世から争いがなくなるような気がします。それでは、2学期にお互い元気な顔でお会いしましょう。楽しく、充実した夏休みを過ごしてください。